

編集後記

人は物事に名を付けることによって、その他とわけて理解する。名付けによって初めて物事が立ちあらわれるのだ。だが、逆にいえば、既成の名を付けると、どうしてもそのイメージに囚われてしまうことになる。企画展にアルテ・ポプラルという聞きなれないことばを用いる意図は、それを避けるため、そのまま「アルテ・ポプラル」として受け止めてほしいと企画者はいう。これは、是非とも観ていただくしかない。

イメージに囚われるといえば、民族学博物館における展示だから、伝統的な「村の」人びとの芸術だろうというのも思い違いだ。「007」の映画を機に、ごく最近始まった死者の日パレードで甦った骸骨人形や、ゲバラやサバタの肖像画に象徴されるように極めて政治的なストリートアートの造形などが展示される。芸術分野は特にそうだが、文化は必ずしも保守的ではなく、静的なものでもない。むしろ、革新的かつ動的で、しばしば政治的なものである。そろそろ民族学博物館における展示だからこそ、現在進行形の文化の動態が観られるというイメージが定着してもよいのではないか。特集からは、本企画展もそこに向けた積み重ねの確かな一歩になることが伝わってくる。(南真木人)

●表紙：メキシコ人陶芸家アルフォンソ・ソテノ作
《生命の木》(H0326350)

次号の予告

特集

「ラグビーという文化」

みんなぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんなぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんなぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんなぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんなぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんなぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団まで
お問い合わせください。
(電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



月刊みんなぱく 2019年10月号

第43巻第10号通巻第505号 2019年10月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子
編集委員 南真木人(編集長) 上羽陽子 齋藤晃
菅瀬晶子 三島禎子 吉岡乾

デザイン 宮谷一欒 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんなぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんなぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんなぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

